

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2025年 2月 20日

事業所名: わくわくクラブ 茨木校

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	8			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	2		・トイレに手すりを付けることを今後検討していく ・バリアフリー化を検討が必要な部分はある
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8			
業務改善	6 業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	1		・引き続き実施していく
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	6	・本部スタッフによる点検を実施し改善を図っている	・第三者評価は必要なことという認識を持ち今後実施していくために必要なことを検討していく
	10 職員の資質の向上を行うために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		・月に一回の職員会議のほか事業部ごとの研修や会社全体の研修がある	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8			・公表できるように準備中 2月末までに完了予定
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	1		・日報や口頭で振り返り内容を全スタッフに共有していけるようにする
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1		・アセスメントツールの導入を全スタッフに周知する
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえてながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			
	17 支援プログラムの立案をチームで行っているか。	8			・引き続き継続しておこなっていく
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8			・固定化されてきているところもあるのでマンネリ化防止に注力していく
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1		・シフトの都合で打ち合わせに参加できないスタッフへの情報伝達方法を見直していく
	22	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	8			
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	1		・出来ているケースとそうではないケースがありその都度の対応を継続していく
関係機関や保護者との連携	26	障害児童相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	7	3		・全児童には対応できていないためさらに連携が深まるよう頻度や参加メンバーの検討をしていく
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	2		・今後はより多くの機会を作っていけるようにする
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容の情報を提供する等しているか。	5	3		・全児童には対応できていないためさらに連携が深まるよう頻度や参加メンバーの検討をしていく
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8		・専門機関のスタッフに現場に入っていただき助言・研修が実施されている	
への説明	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		8		・きょうだいと関わる機会はあるが外部との機会が少ないため今後実施する方法を検討していく
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	1	7		・該当者がいないため参加していないが必要な際はすぐに動けるようにしておく
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		・今年度は3回実施することができた	
保	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際は、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	40	7	1		・さらに連携が深まるよう頻度や参加メンバーの検討をしていく
	41	8			
	42	8			
	43	8			
	44	8			・引き続き注意や配慮をしながら対応する
	45	1	7		・地域を巻き込んだイベントの実施を検討していく
非常時等の対応	46	8		・定期的に防災に関する取り組みをおこない非常階段の訓練を実施している	
	47	8			
	48	8			
	49		8	・医師の指示書は回収していないがアレルギーのあるおやつを提供しないようにしている	・該当児童がいる場合には注意や配慮をしながら対応していく
	50	8			・現在作成済みの計画を更により計画にすべく検討し保護者へ共有していく
	51	8			
	52	8			
	53	8		・年に数回研修会をおこなっている	
	54	7	1		・該当児童がいないため実施していないが保護者への説明書類や計画に記載の文言は組織として統一している ・スタッフ間で認識の統一をおこなえるよう努める